

春をENJOY!

通所



通所女性職員集合♥
皆さんよろしくお願ひします!!

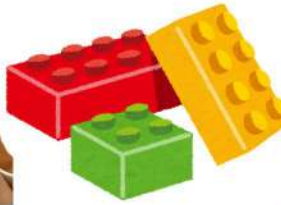


放課後等デイサービス

ほほえみいっぱい活動★



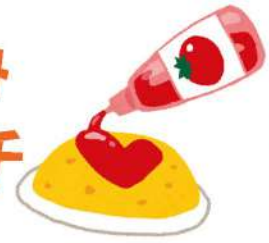
お花見に行きました♪



ひなまつりメニュー



ほほえみランチ



春のスペシャルメニュー



春のお茶会



■園長あいさつ

「大丈夫、トンネルの先には光がある」
園長 西原昇次

人生にはトンネルがつきものである。車だろが徒歩だろが、トンネルをくぐったことのない人はいないだろう。幼い頃から今日まで数えきれないほどのトンネルをくぐってきた。

トンネルは、人生の物語にもよく出てくる。前が見えないどん詰まり状態の時、人は「出口のないトンネルのようだ」と表現する。

コロナの長いトンネルにもため息が出る。

卓球の石川佳純選手にも長いトンネルの時代があった。負け試合が続き、果ては世界ランキング七十二位の選手にも完敗した。負ける度に肩を落とし、「次は何が何でも勝つ。負けられない」と泣いた。

しかし、あるとき、何か吹っ切れたような顔で、「勝ちた過ぎるとダメですね」、「大丈夫、次は勝てる」と笑った。そして負け続けたトンネルを抜けた。

出口がないのは洞窟、トンネルには進み続けると必ず光が差す瞬間がある。だからトンネルには物語があり、人生がある。

■竹の子句会三月例会(令和三年)

両村 ゆき多選

春憂しや大震災の十回忌

尾形 紅花

(評)「家が、車が、家具が」流れて行く、まるで地獄絵図を見ているようなテレビの画面に釘づけとなっていたのを思い出しました。

あれから十年、まだまだ復興最中で、元には中々戻らない。作者も大震災の十回忌を偲んでのお句です。句は情と言います。作者の情の深さに感動です。

来し方を振り返りをり花馬酔木

丹下 寿人

(評)花馬酔木を眺めながら、作者は今までの生き方、過ごし方に思いを巡らせていたのでしよう。人生長いようで短いものです。これからの人生を健康で楽しく過ごされるよう祈念致します。

陽光てふ名の花咲ける里曲かな

越智研一郎

(評)東温市の方が長年研究し、陽光桜を生み出した。その花がこの里で今満開である。花の命は短い!と言われますが、ひとときの日本の美を味わって下さい。

天地の恵み名草の芽吹きかな

高坂あずさ

(評)寒い冬をじっと耐えかねていた木々が、芽吹き始めた。希望の春!いよいよ春爛漫である。大いに羽搏いて、人生を謳歌しましょう。

ぼつくり寺に詣でてをかし山笑ふ

両村ゆき多